



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/43名 出席率/57.33%

メークアップ/32名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



今月は米山記念奨学会の強調月間となっておりますので、例会プログラムも米山奨学生のスピーチを2週連続して計画しました。縁あって米山学友会のオディ君の案内で先週9月26日～30日迄国際専任委員会主催のモンゴル旅行から帰国したところです。ウランバートルのフレ－RCにメーキャップしモンゴルのロータリアンと交流を深めることが出来思い出に残りました。フレ－RCのG. イデルマー会長とパナー交換、福島お土産の「赤べこ」を贈呈しました。女性会員が2/3、会長・幹事・会長エレクトすべて女性という私にとっては居心地の良いクラブでした。モンゴル米山学友会バトゲレル・オイドブ会長と学友会のメンバー二人も同席され和やかに歓談致しました。翌日新モンゴル学園を訪問し校内を担当者に案内され図書室・体育館・食堂などを見て回り、ナランバヤル校長先生に面会、日本の教育システムを導入し小・中・高一貫校を運営、モンゴルの人材育成に貢献していきたいと意気込みを語ってくれました。この後菅野良二会員が支援している児童施設2か所を訪問し学用品をプレゼントしてきました。観光光ルに宿泊したり、チンギス・ハン記念館で横綱白鵬閣に出会うハブニング等大変盛り上がりました。最後の夜モンゴル米山学友会メンバーとの食事会では自己紹介の後、思い切り日本語で語り合い、来年7月27日開催される米山「世界大会 in モンゴル」で再会しようとしてきました。会長・幹事・オディ君は2次会のカラオケへ招待され、ここは日本かモンゴルか分からなくなる程盛り上がりながら日本語で日本の歌を皆で歌いました。ホテルには深夜12時過ぎに帰ってきましたが何と早朝6時発のバスに乗り遅れ無事帰国。日曜午後7時過ぎ帰宅、現地で日本語のアシストをしてくれたモンゴル大学の学生オユカ嬢より無事着きましたか？とのメールが入り、無事帰国とお世話になった御礼を返信。写真を送ったりして何度かメールの交換をしています。鈴木洋子米山奨学会委員長活躍ご苦労様で、一條浩孝幹事会計その他諸々の調整ご苦労様です。旅行に参加された皆様お疲れ様でした。最後にこのモンゴル旅行を企画・手配してくれたオディ君には心より感謝いたします。

福島21RC会長挨拶 松本 和彦 会長



当クラブの特別事業として地域のリーダーを育てる新しい風プロジェクトとして、公開講座を年4回実施します。
第一弾は10月4日17:15よりサンパレス福島で開催されますので、どうぞご来場下さい。

モンゴル旅行報告 丹治 洋子 会員



モンゴルで体験したこと
(1)自分たちの老いを肌で感じる (オディ君と一條幹事ご夫妻以外)
(2)フレ－RCと合同の夜間例会出席
(3)米山学友会の方々と同夜間例会出席 (4)子供の施設・小中高一貫学校の見学 (5)ゲルでの宿泊体験 (6)乗馬体験 (7)白鵬との出会い (8)民族芸能鑑賞 (9)福島南RCの一員で本当に良かった
※モンゴル米山学友会 世界米山学友会総会 IN モンゴル 2019 実行委員のゾグスレン・ムンガンボヤ (医学博士)が10月24日(水)の例会にメーキャップ予定です。

ロータリーの友読みどころ 鈴木 洋子 委員



・横3才「財源減呼びかけ」30年前は毎日1,000人の子供がポリオによる麻痺を発症していた。無くなる迄支援をお願いします
・横8会津と薩摩の縁 戊辰戦争の敵同士を乗り越え会津西RCと鹿児島中央RCが友好クラブを締結した時の思い出の記事

米山梅吉記念館研修旅行報告 鈴木 洋子 委員長



9月1日～2日福島駅を6:40に出発し、14:00到着の際には大橋PGが笑顔で手を振って迎えられました。
米山記念奨学会直前ガバナー鈴木邦典様他、総勢37名でした。直接多くの奨学生の生の声を聴いて、皆様の元氣と母国への思いを聞く事が出来、本事業の意味深さを感じました。特に感動したのは、昭和15年から17年にかけて青森から沖縄までの当時の心む療養院全てを訪れており、訪問する信念と勇氣ある行動は身震いをする程の感動でした。



私はヴォティティユ・ハーです。福島大学の3年生です。今日は、私はなぜ日本に来たのか、また今勉強していることや将来やって行きたい事を話したいと思います。私はなぜ日本に来たのか？高校の終わりころに、大学受験の事で悩んでいました。両親は学校の先生で、私は5人姉妹の末っ子です。お母さんは両親のように学校の先生になって欲しいので、教育系の大学に入学するように勧められましたが、お父さんは、先の就職の事を考えると医科大学に進んで医者になるのが良いと勧めました。私だけでなく両親も悩んでいました。

私は、高校時代は旅行が大好きで、友達と様々な所に行きました。しかし、高校3年生になると友達は一生懸命大学受験の準備、学校の勉強だけでなく塾に通ったりしているのに、自分は、勉強に興味無く学校以外では勉強はしないし、アルバイトや先輩の友人と交流して、フラフラとした日々でした。高校3年生の時に、友達とゲーアン県の西の方にある景色が綺麗な高い山へ行きました。しかし、景色どころではなくその場所に住んでいる人々が電氣も無く、食品から衣類にいたるまで不足している状況にショックを受けました。学校にも行けずに、家事・子育てなど、両親の仕事を手伝っている子供たちがたくさん居ました。なぜ学校に行っていないのかを聞いたら、生活費が足りず、学校に行ったらお金も掛かるし、働く人数が減ってしまいもっとお金が足りなくなってしまうといわれました。私は、その子供たちにお金をあげようと思いましたが、子供たちは貰おうとはしなかったので、驚きました。何故貰わないのかを聞いたら、お金を使ったことが無く、お母さんはそんなに大きな価値のお金は持ってないですと言われ、私は、本当に可哀想だと思いました。自分は欲しい物があつたら買ってもらうのが当たり前だったので、本当にショックを受けました。

これをきっかけに県内の色々な所に行って個人的に衣類やお金の寄付をしました。国内の行けない所には送ってあげました。大金は送れないので気持ち分だけですが送りました、高校3年生の時から日本に来てからも、毎月の給料から、奨学金の中からも送っています。

何回も訪問してきたところで、出会った女の子と話をしている時に夢を聞いたら、女の子はアニメが好きで、毎週一回土曜日の夜だけ、村の子供たちが集まってアニメを見る事が出来るのですが、それがとても楽しみで、そのとき見たのが、日本のアニメだったそうです。そのアニメで日本の生活や夢、お刺身の事などが流れ、日本はどんな国なのか気になり、女の子は1歳で良いから日本に行ってみようという夢が芽になったそうです。

しかし、その子が7歳のときに残念ながら小児麻痺に掛かり、体が全然動かなくなり、私が高校を卒業する頃に亡くなってしまい、その子の代わりに日本に行きたいと思いました。その事を両親に相談したら大学を卒業することを条件にすぐに許可を貰いました。両親は、やりたい事があるなら後で後悔しないように、若いうちにやっておきなさいと言ってくれました。そこから、必死で勉強して大学に合格しましたが、日本への留学が決まったので、大学入学を辞退して、私は日本に来る事になりました。

なぜ福島なのか？私が日本語の学校へ通っていた時に、福島へ受験しようと思うと言ったら、先生たちが何故福島なの？地震があって、放射能もまだあるんじゃないかと聞かれました。でも、福島は私の出身地と共通点が多く、さらには米が有名で、米から作られる日本酒等を日本語学校から頂きました。

自分が福島に行って勉強して、知識を持ち帰り地域の人たちが農業とか農産物で作った商品を販売して発展する事が良いと思いました。いろいろな勉強をして、それを実現出来るまでどのくらいの時間が必要かわかりませんが、仕事としてやっていきたいと思っています。最初は、日本で就職して、日本のいろいろな事を勉強してから、ベトナムに帰って自分の田舎等へのボランティア等も長く続けたいと思っています。自分の人生に後悔が無いように頑張りたいと思っています。



— 今後のプログラム —

- ・10月17日(水)休会
 - ・10月24日(水)世界ポリオデー クリアファイル販売
 - ・10月31日(水)ガバナー公式訪問
- 第3回ガバナー補佐訪問

— 地区情報・第一分區・関連情報 —

- ・10月10日(水)防火バレード寄付贈呈式
- ・10月10日(水)バス交流会(夜間)
- ・10月14日(日)第3回福島南RCゴルフコンペ(磐梯熱海)

— 10月10日(水)の例会プログラム —

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 開会点鐘 | 7. 米山記念奨学生「ゲストスピーチ |
| 2. ロータリーソング | 8. カンサラー「ゲストスピーチ |
| 3. 四つのテスト唱和 | 9. 謝礼の贈呈 |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶 | 10. 各委員会報告 |
| 5. 誕生祝 | 11. 閉会点鐘 |
| 6. 渡辺正義会員 | |
- 新社屋落成祝贈呈